

生き方を変える、芸術の「学び重ね」。

01

September 2023

ユメミル

芸大生 JOURNAL

yumemiru

ようこそ、
未知なる芸術の学びへ



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS CORRESPONDENCE EDUCATION

学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育部



それぞれの、芸術を学ぶ風景

趣味だったイラストが、 「誰かのために」描くイラストへ変化

授業ではひとつのことを学ぶのではなく、美術解剖学やアニメーションなど、さまざまなジャンルを学びました。自分にとっては初めてのことばかりで、自分ひとりだったら出会わなかったようなジャンルを学べたことが、すごく印象に残っています。

また、イラストレーションの描き方だけではなく、業界分析や著作権、イラストがビジネス的にどのように使われるのかも学びました。それまで、「趣味で描く絵」と「誰かのために描く絵」に違いがあると知らなかったのが、自分の描いたものがビジネスの中でどんな役割を持っているかということを知った授業でした。

それまでは、自分の届けたい思いと受け取る側の思いが違うこともあり、「この齟齬はなんだろう？」と疑問だったんです。描いていても上手に伝えられ

ていないという意識がありました。でもこの授業を受けた時に、制作物にはルール、目的、枠組みがあることを知りました。この授業をきっかけに、自分にはない部分や客観的なルールを知ることができ、描きやすくなったんです。描いていく中で「自分はこう思っている」というのは、自分のものさしでしかない。受け取る人に伝えるためには、他者のものさしを知り、自分なりに取り入れなくてはいけないという気づきがありました。

Profile

安藤 友理 (あんど うり) イラストレーションコース (3年次編入学) 2022年度卒業。4年制大学を卒業後、化粧品会社に就職。結婚、退職、引越しを経て以前より興味があった分野を学んでみたいと思いつつ、その中で、もっと自由に自分の感じたことを表現したいと思い、絵を学ぶために入学を決めた。現在は雑貨販売を中心に、イラストレーターとして活動している。

Webではたくさんの卒業生インタビューを公開中！ https://www.kyoto-art.ac.jp/t/student_voice/
18歳から90代まで、会社員、主婦、定年後など、あらゆる立場の人々の声をご紹介します。



結婚、退職、引っ越しを経て、 中学生の頃から興味があった分野にチャレンジ

4年制大学を卒業したあと、化粧品会社に就職しましたが、結婚をきっかけに退職し、引っ越しもしました。その後も、夫の仕事で異動があるかもしれないので、再就職や転職も難しい状況だったのですが「ずっとやってみたかったことをやろう」といい機会だと考えて、通信教育部への入学を決めました。

美術系は中学生の頃から興味はあったんですが、心のどこかで「特別な人がやるもの」だと思ってい

ました。ですので、自分の選択肢にはなく、他の仕事をしていました。でも、自分の人生をもう一度考えた時、「好きなことをできるのって今しかないんじゃないか」と思ったんです。本当にやりたいことをやりたいなと思ったので、やると決めたからには、迷わずに進みました。



まだわからないことがたくさんあって、自分にもできるのだろうか?と、不安を抱えている人もいます。でも、大丈夫。京都芸術大学には、初めての人でも学びやすい環境や、魅力がたくさんあります。このページでは、入学前のあなたがまだ知らない、大学の魅力をさまざまな切り口でお伝えします。さあ、入学した後のあなた自身を、ちょっと想像してみませんか?

先生、AIと芸術について教えてください。

第1回の質問



近

年流行りのChatGPT(チャットジーピーティー)にAIによる生成物について聞いてみたところ、「AIによって生成された作品は、アルゴリズムやプログラムによって生成されたものであり、人間が指示したルールに従って生成されるため、独自性や感情表現には限界があると言えます。AIは芸術的な作品を生成することができませんが、人間の創造性や感性を超えることはできず、本物の芸術には及びません。しかし、AIによって生成された作品は、芸術分野において新たな表現方法や可能性を提供することができると考えられます」と教えてくれました。

情報の集約という点では優れていますが、「人間の創造性や感性を超えること」はできないのです。では、「本物の芸術」なるものを生み出す「人間の創造性や感性」を育むにはどうすべきか。それはまさに「デッサン」をしたり、絵画を鑑賞したり、日々の生活のなかで芸術教養を深める学びを愚直に行っていくことが大切であると思います。そうした経験から「直観」の閃きを得ることができ、それが卒業研究、卒業制作へと結実し、ひいては社会を変革する力にもなりうるものと信じています。私たち通信教育部の教職員は一丸となって、「一人ひとりの「夢」に向き合い、寄り添い、そのための学修環境を整えて、みなさんの学びを全力でサポートします。」

本学での学びが、みなさんの人生をより豊かにするものとなりますように。

答えてくれた先生▼ 通信教育部長/歴史遺産コース 石神裕之先生

芸大の先生に聞きたい! あんなこと こんなこと

卒業生 Voice

2018年度 建築デザインコース卒業
藤本英樹さん



IT業界で働きながら、 一級建築士資格取得をめざす

「何十年ぶりだろう。こんな風に仕事めきで、純粋に何かを学ぶなんて」。多忙なIT業界で働きながら、再び学生になることを決めた藤本さん。学びとして「建築」にふれ、新鮮な喜びをかみしめていた。といっても、それはまだ入学して間もない頃のこと。「正直なところ、通信だから楽にこなせるものだろう」と甘く見ていたんです。建築デザインの魅力に目覚めたきっかけは、仕事の気晴らしにと手にした一冊の作品集。「いつか小さな別荘を自分で設計できたら、などと妄想していたら、たまたま通信で芸大」それも建築が学べると知って。勢いよく飛び込んだのは良かったものの、学べば学ぶほど、建築というものの奥深さに圧倒されていった。

論理的に考えを構築し、相手に伝える力を磨けたことは、仕事にも役立っているという。「最大の難関だった卒業制作も、同じように生活を抱えてがんばる学友たちと声をかけあい、なんとか乗りきることができました」。

「いまの仕事にもやりがいを感じているので、すぐに転職を、と考えているわけではありません。ただ、これからの長い人生、ずっと自分なりの形で建築と関わっていきけるように」と。建築の豊かさを学んだからこそ、長い目線での付き合いを考えるようになった、という藤本さん。「やっとドアを開いたら、はるか向こうにまた次のドアが見える。すごい世界に入り込んでしまいました」と晴れやかに笑う。

入学したらやってみたいこと!

今年入学した新入生たちのアンケートから抜粋。あなた自身のやりたいことを想像してみてください。

せっかく芸術大学に入ったのだから デッサンをやりたい!

もともと芸大・美大には憧れていたのですが、芸術系とは関係のない大学を卒業しました。今回入学することができたので、共通科目のデッサンを受けてみようと思っています。



学食を食べてみたい!

大学を卒業したのはずいぶん前のことなので、また学食を食べてみたいなあと思っていました。授業で親しくなった仲間と話しながら、リーズナブルで美味しい学食を食べて、学生気分を満喫したいです。このことを周りに話すととてもうれやましがられています(笑)

絵について、 体系的に学びたい!

これまでは趣味で絵を描いたり、教室などに通って楽しく描いてきましたが、作品展などで目にする絵とはやっぱりどこかちがうなああと感じていました。絵具や画材のこと、筆の使い方など、ときちんと知りたいなと思ったのがきっかけです。



同じ歴史好きの仲間と お寺巡りがしたい!

私は歴史が好きなので、現地で受けられるスクーリング授業が大変楽しみです。共通の興味を持つ仲間たちと話をしながらその土地の歴史や文化に触れられるようなので、申込期間が待ち遠しいです。ちょっと遠足気分にもなれますよね(笑)

ここに響いたワード

過去から
点でやっていたことが、
ある日突然
線でつながるときがくる。

入学したコースは、これまでの仕事とは全く異なる分野でした。大学では「自分の好きなこと」を追求してきましたが、突然過去の仕事と自分の好きなことが線でつながる瞬間が訪れ、いまの仕事にもつながっているの学んでいて良かったと感じています。

ユメミル芸大生になるための 3つのマインドチェンジ

mind change

01 じぶん自身にフォーカス

あなたの本心はなんですか。誰かの気持ち、周囲の空気を読んで本心ではないことを口にしてしまうことはありませんか?好きなことは好き、そうでないなら、ちがう。じぶんが今、何をどう感じたか?にじっくりフォーカス。

02 ココロをオープンに弾ませる

あたらしく何かに取り組むとき。みずみずしく弾むような気持ちでのぞんでみましょう。まるではじめて恋をしたときのような、ひさしぶりの友だちと会う夕方のような気分。ワクワクしている自分のところに素直に。ココロのトビラを全開で!

03 5分、10分を取り戻す

普段の生活の中で何気なくやり過ごしているほんの数分に着目。5分を1日6回くりかえせば30分。1週間で210分(3時間半)も。これだけでもなにかできそうな気がします。取り戻した時間でなにをしようか?少しの変化を楽しんで。

PICK
UP
EVENT

10月限定特別イベント開催

ようこそ未知なる芸術の学びへ

オンライン 2023年10月21日(土) 10:00～START!

対面 2023年10月28日(土) 10:00～START!

「今まで挑戦してこなかった新しいことに取り組みたい。」「興味があった芸術を深めていきたい。」

本学に入学された学生のみならず、よくこんな言葉をお聞きます。

社会人としてこれまで多くのキャリアや経験を積んできたからこそ、「答え」を知るような学びではなく、自ら「問い」を立て探究することができる芸術領域に足を踏み入れてみたいという方はとても増えています。しかし、実際の学びを考えると、仕事や家庭とどのように両立するのか?新しい学びについていけるのか?そもそも大学に戻って学ぶ意義は?など疑問がわいてきます。

今回はそんな方に是非お伝えしたい、「本学通信教育部の学び方」や「大学で学ぶ意義」など、みなさまの疑問や不安を解消するスペシャルイベントを開催します。

オンライン

日程 2023年10月21日(土)

時間 第1部 10:00～11:00 / 第2部 11:00～12:15

会場 Zoomウェビナー 申込 事前申し込み制

対面

日程 2023年10月28日(土)

時間 第1部 10:00～11:00 / 第2部 11:00～12:15

会場 京都・瓜生山キャンパス 申込 事前申し込み制

※対面イベント終了後、個別相談会を実施いたしますのでお気軽にご参加ください。

イベントの流れ ※内容はオンライン・対面どちらも同じです。

- 10:00～11:00
第1部 オープニング/通信制芸術大学とは?
・本学の特長や学び方、サポート体制
・大学で芸術を学ぶ意義とは?
- 11:00～12:15
第2部 スペシャルトーク「ようこそ、未知なる学びへ」
・社会人が芸大生になるためのポイントや本学での学科・コースの魅力を紹介
・Q&A コーナー



参加の3つのポイント

POINT 1

なにか新しいことをはじめたい
学びに興味がある

「芸術を学ぶのも、通信制大学もはじめてだけ大丈夫かな?」と不安がある方は、ぜひご参加ください。入学後の学びの世界を知ること、あらたな扉を開く勇気ももらえます。

POINT 2

社会人が芸術を学ぶこと、
大学で学ぶことの意義がわかる

芸術を学ぶと、生活や日常の視点が大きく変わります。どんな変化があるのか、また独学やセミナー等と「大学で学ぶこと」が質的にどう違うのか?など、入学検討者からよくいただく質問をベースにお伝えします。

POINT 3

多くの学生をみてきた
先生たちの話がきける!

第一線で活躍する現役のクリエイター、研究者として。また教育者としてこれまで数多くの社会人学生たちを卒業へと送りだしてきた伴走者=教員より、社会人が学生に戻って学ぶ際のヒントやエッセンスをたっぷりお届けします。

Special Talk 対談教員のご紹介

副学長/空間演出デザインコース

上田篤先生

comment

私たちが学生として迎える皆さんは、社会でさまざまな経験を積んでこられた方々です。「教育」というより「一緒に学びたい」というのが素直な気持ちです。ただ一方、社会人として生活する中で、いつの間にか失いかけた想いもあるでしょう。「もっと知りたい」「もっと学びたい」。そんな純粋な夢や目標に「気づく」きっかけをつくるのが私たちの役目です。本学でその気づきを得て、「一生、芸術を学びつづける」意識を持った方は、卒業までに大変身を遂げていきます。

上田篤(うえだ あつし) 大阪府出身。京都工芸繊維大学大学院修了、建設会社勤務後、建築家・デザイナーとして独立。人の集う場のデザイン、空間演出デザインを専門とする。滋賀県甲賀市信楽地区の芸術祭「シガラキマニア」の監修も務める。著書に「図形ドリル」(学芸出版社・単著)。普段は通信教育部のありとあらゆるところで奮闘中。



通信教育部長/歴史遺産コース

石神裕之先生

comment

デッサンをしたり、絵画を鑑賞したりすることを通じて、自らの感受性を養う訓練は、まさに芸術大学における日常的学びであり、無理することなく自然体で「直観」のちからを高めることが可能です。つまりそれこそが芸大で学ぶ意義といえるのかもしれませんが。既存の知識では全く関わりのない異なる事象に対しても、「直観」を研ぎ澄ますことによって、それらをつなぐ接点を見出し、新たな「創造的発見」が導き出されてきます。

石神 裕之(いしがみ ひろゆき) 考古学者。千葉県出身。1997年慶應義塾大学文学部史学科卒業。2005年慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。2006年慶應義塾大学大学院文学研究科より博士(史学)を授与。文化遺産を地域のなかで保存・活用していくための方法論の構築に関心を持って研究を進めてきた。地域に根ざした文化遺産の保存・活用の実践的な活動にも携わっている。



イベントの詳細や、参加のお申込みはこちらからアクセス!

説明会イベントページの参加フォームより、事前に必ずお申込みください。 https://www.kyoto-art.ac.jp/t/briefing/briefing_oct/



通信制大学院もチェック!

通学0日、完全オンラインで芸術修士(MFA)を取得できる!

「通信制大学院オンライン説明会」

国内唯一、完全オンラインで芸術修士(MFA)が取得可能な本学通信制大学院の各領域・分野の紹介や、学習の流れや研究の取り組み方など通信制大学院全体の概要をご紹介します。

日程 2023年10月4日(水)

会場 オンライン (Zoomウェビナー)

時間 19:00～20:30

申込 事前申し込み制

詳しくはこちらから!



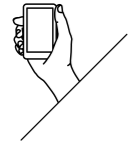
国内唯一 完全オンラインで
芸術修士(MFA)を取得
京都芸術大学
通信制大学院

Take the first step to learn the arts

芸術を学ぶ 一步を踏み出そう

京都芸術大学
通信教育部の
特徴

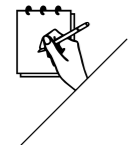
通信教育部 芸術学部



手のひら芸大

通学不要。完全オンラインでどこでも学べる

[芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科]
4学科・5コース



週末芸大

自宅学習+週末スクーリングで実践的に学ぶ

[芸術学科・美術科・デザイン科] 3学科・12コース

※グラフィックデザインコースは2025年度より
Web完結カリキュラムに移行予定



博物館学芸員課程

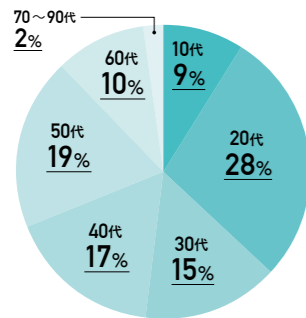
資格課程 学科・コースに所属しながら+αの学び。標準的な受講期間は3年間(最長で2年間)。

科目等履修 学科・コースに所属せず、1年間で資格を取得

POINT 1

1.5万人以上が学ぶ、 日本最大の芸術大学

18歳から90代まで、15,495名が在籍(2023年5月現在)。会社員・主婦・定年後などのあらゆる立場・職業の人々が全国+海外から集う、日本初の通信による4年制芸術大学です。



多地域・多世代が集う
学びのコミュニティ

POINT 2

延べ1,000名以上の 教員による丁寧な添削

教員によるアドバイスがびっしりと書き込まれて返却される、細やかな添削指導が好評。また、学習用Webサイト『airU(エア・ユー)』で提供される本学独自の動画教材で、自宅でも臨場感のある学びが受けられます。



教員による丁寧な
アドバイス指導

POINT 3

拠点は京都・東京の 2つのキャンパス+遠隔

スクーリングは土日2日間開講で社会人の方にも学びやすい仕組み。京都が東京のいずれかのキャンパス、もしくはオンラインによる遠隔開講を選択することで、卒業に必要なスクーリングをすべて受講できます。(陶芸は京都のみ)
※「手のひら芸大」はすべてWeb上での受講。



学習用Webサイト
「airU(エア・ユー)」

※私立大学通信教育協会加盟校34校中2023年度在学者数、2023年度入学者数、第1位(私立大学通信教育協会 令和5年度調査)

learning points

01 編入学の方も専門分野は、 基礎から学びます

「編入学だと専門分野の内容についていけないのでは?」「初心者の場合1年次入学した方がいいの?」といった質問をよくいただきます。3年次編入学の場合は「自由選択科目(一般教養など)」の単位が免除となり、学科・コースの専門分野は1年次入学と同じ内容に取り組みますので、資格をお持ちの方は編入学で出願してください。



learning points

02 自宅課題や試験は、 1回で合格しなくても大丈夫

「課題や試験が不合格になったらどうしよう」と不安な方も多いかもしれません。課題提出や試験の受験機会は年度内に複数回あり、一度不合格になっても再チャレンジできる仕組みです。課題返却時には、教員から詳しい講評文が届きます。もし不合格だった場合も、教員からのアドバイスを踏まえて再提出し、学びを深めるチャンスです!



learning points

03 卒業までのペースは、 自分で決めます

通信教育の魅力は、各自の生活スタイルにあわせて柔軟に学習ペースを決められること。最短卒業を目指す人もいれば、じっくりと時間をかけて学びを深めたい人、仕事や家族とのバランスを考えて進めたい人など、様々です。在籍可能期間(1年次入学:4~9年、3年次編入学:2~7年)内に卒業要件(卒業に必要な単位条件)を満たし、どのくらいかけて学習するのか、ご自身に合ったスケジュールを立てましょう!



大学での学び方について、
もっと詳しく知りたい人はこちらから!



Scenery for
learning arts

写真家がみた
大学の景色



PHOTOGRAPHER

食堂の横を通る階段をのぼって

食堂を通り過ぎてしばらく歩いた先に見える風景。大雨の翌日の清新な日に撮影されました。時刻は18時前。夕方の優しい光がキャンパスと京都の街並みに穏やかな輝きを与えています。どこからともなくかすかに聞こえる声が、放課後のキャンパスを静かに包み込んでいます。



Profile

片山達貴(かたやまたつき) 映像作家。1991年徳島県生まれ。2018年京都芸術大学 通学課程 現代美術・写真コース卒業。自己と他者の間に存在する目に見えないつながりを探る。主な活動に、2020年「dior photography award for young talent 2020」2019年「第21回 1_wall展」2019年「VOCA展 2019」など。

News

通信教育部 開設25周年を迎えました。

京都芸術大学通信教育部は1998年4月に開設され、2023年の今年で25周年を迎えることとなりました。1998年の創設当初は、「通信教育で芸術やデザインを学ぶことができるのか」というお声も寄せられましたが、「芸術立国」の名のもと文藝復興の運動という理念を持って、25年の道程を学生のみならずとともに歩んでまいりました。IT技術の急速な進歩の恩恵も受け、現在では1.5万人を超える学生が全国そして海外からも集い、学びあう教育機関に成長いたしました。

25周年のテーマは「これまで、そしてこれから」です。

過去をふり返ることは大事だけれど、ただ昔を懐かしむというだけでなく、つねに前に進んで、挑戦していくところがこの大学らしさであると思っていますので、そうした意味を込めたスローガンになっています。

これを節目に、これまでの25年を振り返り、より多くの方が芸術を学ぶことができる教育の仕組みづくりなど、さらなる新しい通信教育の姿を目指し、これからの第一歩を踏み出してまいりたいと思います。



体験入学・入学説明会スケジュール

※11月以降のイベント申し込みは開催1か月前頃にwebサイトにて告知予定

学科・コース選び／出願書類の準備期間	2023年 10/4(水)	<p>🗨️ 説明会 (オンライン開催) より深く芸術を理解したい方・芸術修士(MFA)を取得したい方向け</p> <p>国内唯一、完全オンラインで芸術修士(MFA)を取得できる 本学通信制大学院の概要をご紹介します。</p> <p>通信制大学院 オンライン説明会</p> <p>詳細・申込み </p> 
	オンライン 10/21(土) 対面 10/28(土)	<p>🚩 特別イベント (オンライン・対面の両方開催)</p> <p>本学に興味があるすべての方へおすすめ。大学で芸術を学ぶ意義や、学習をうまくすすめるヒントなどをたっぷりお届け!</p> <p>「ようこそ、未知なる芸術の学びの世界へ」</p> <p>詳細・申込み </p> 
	11/11(土)、12/18(土)、19(日)	<p>📖 体験授業 (オンライン開催)</p> <p>模擬授業を受けて、芸術大学の雰囲気を実験しよう!</p> <p>秋のオンライン1日体験入学</p> 
	12/9(土)、10/16(土)、17(日)	<p>🗨️ 説明会 (オンライン開催)</p> <p>気になるコースのカリキュラムを、教員からくわしく聞ける!</p> <p>オンライン入学説明会</p> 
出願	2024年 1月	<p>出願期間 2024年1月15日(月)～4月5日(金) 消印有効</p> <p>※Web出願登録は2024年3月30日(土)まで</p> <p>科目等履修生(博物館学芸員課程) 2024年1月15日(月)～2月16日(金) 消印有効</p> <p>通信制大学院 2024年1月15日(月)～2月19日(月) 消印有効</p>
	4月	<p>入学式・新入生ガイダンス</p>
学習開始		

Webサイト紹介

📄 京都芸術大学通信教育部 | Webサイト
<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/>

通信教育部の特長、学び方、学科コースの紹介、学費など基本情報をまずはこちらでチェック!募集要項やスクーリング日程などもPDFでご覧いただけます。



📺 通信教育課程 | YouTubeチャンネル

学科・コースの紹介や、入学説明会の過去アーカイブ、卒業生インタビューなどを動画でご紹介。



✍️ 通信教育部 | ブログ

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t-blog/>
各コースの授業の様子を先生方が執筆。よりリアルな本学通信教育課程の「イマ」がわかります。



入学のお問合せ・個別相談はこちらから

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/contact/>
チャットでの簡単なお問合せも可能です。



お気軽にお問合せください!



編集後記

今年度より、卒業生のインタビューや在学生アンケート、教員のコメントを本冊子にてご紹介することとなりました。Webサイトなどでは公開していない、リアルなメッセージや先生の言葉などから、芸術を学ぶ楽しさを感じていただければ幸いです。



京都芸術大学 通信教育課程 入学・教育開発課
家村 博貴



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS CORRESPONDENCE EDUCATION

学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学 通信教育部

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 通信教育課程入学課
E-mail: tsushin@office.kyoto-art.ac.jp